

# 千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町 1 - 1  
公益社団法人千葉県園芸協会  
連絡先 043 (223) 3005  
毎月 1日発行  
平成 27年 9月号

流通情報

## 県産農林水産物の輸出促進ガイドラインを策定

流通販売課 販売・輸出促進室 副主査 新居 友明

県では、事業者が輸出に取り組む際の課題解決方法や県の支援策を提示し、事業者が戦略的・効率的に輸出事業を進める上での指針として活用いただくことを目的として、本年 7 月にガイドラインを策定しました。

### 1 ガイドライン策定の背景

農林水産物の国内市場は、少子高齢化や人口減少などにより、縮小に向かうことが予想されており、本県農林漁業者の経営安定に向け、新規の販路開拓は重要な課題となっています。

一方、東・東南アジアの新興国を中心に富裕層の増加が顕著になっており、また、和食が海外で高い評価を受け、平成 25 年にはユネスコの無形文化遺産に登録されるなど、世界中から注目が集まっています。

### 2 輸出促進に向けた国や県の動き

このような状況から、新たに輸出に取り組むことで、販路拡大や経営安定化を目指す動きが、全国的に広がっています。

本県においても、トップセールスを契機として、海外への販路拡大に努めており、平成 25 年 12 月策定の「千葉県農林水産業振興計画」においては、「県産農林水産物の輸出拡大」が戦略の柱の一つとして位置付けられました。

### 3 本県の輸出の現状と課題

しかし、本県では、首都圏に位置するという地理的優位性から、意欲的に輸出に取り組んでいる事業者はまだ少なく、また、北海道や九州などの遠隔産地に比べ、海外での販売促進活動や輸出環境整備において遅れているのが現状です。

加えて、輸出は国内販売との差異や様々なリスク等の課題が存在し、個々の事業者では対応が難しい場合もあります。

### 4 今後の輸出拡大に向けて

そこで県では、事業者が輸出に取り組むに当たっての課題解決方法や県の支援策を示すとともに、

優位性が発揮できる県産品についての対応方法を整理した、「千葉県産農林水産物の輸出促進ガイドライン」を取りまとめました。

また、別冊として、これから輸出を始めたいと考える事業者向けに、問合せ先や現状などを一問一答方式で回答する、「農林水産物輸出の手引」を作成しました。ガイドラインと併せて、ご活用ください。



マレーシアで販売されている県産サツマイモ。新しい食べ方として「焼きいも」を提案し、好評を得ています。



## 千葉県における産地連携の取組について

公益社団法人 千葉県園芸協会  
産地振興部 主査 榎 晋介

国内外の産地間競争が激化する中、近年増加している量販店などの大口需要に対応するためには、個別産地の取組に加え、県内産地が戦略的に連携するオール千葉体制の取組が求められています。千葉県園芸協会では、各産地、全農千葉県本部、千葉県と連携して、県産主要品目の生産力・販売力強化に取り組んでいます。

### 1 平成 26 年度の取組概要

県内の園芸関係者が一堂に会して「産地連携推進会議」を開催し、産地連携を柱とした本県園芸の振興方針について情報を共有するとともに、本県の主要な園芸 4 品目(トマト、ねぎ、にんじん、さつまいも)を対象として県内産地が参加する品目別協議会を設置しました。販売戦略の合意形成を図りながら、出荷規格の統一や販売促進活動、品質向上のための栽培技術改善や先進地視察等を行い、本県園芸農産物の生産力・販売力を強化することで、他県の産地に打ち勝てる力強い産地づくりを推進しました。

### 2 平成 26 年度の品目別協議会ごとの取組

トマト協議会では、「品質の安定化と計画的出荷による周年販売体制の強化」を目標として、等階級呼称の推進や選果基準の統一を図るための「千葉県選果基準表」及び「カラーチャート」の作成・配付、抑制トマトにおける遮熱試験の実施、統一販促資材(スイングポップ・シール)の作成、全国一のトマト産地(熊本県)の視察等を行いました。

ねぎ協議会では「省力化・効率化による規模拡大と計画出荷の実現」を目標として、若

手生産者を中心とした先進産地(JA 岩井)の視察や、収穫機械の実演会を実施しました。

にんじん協議会では「品質の安定化と周年販売体制の強化」を目標として、3JA(山武郡市・千葉みらい・富里市)による合同販促の実施や、春夏にんじん指導者向け研修会の開催、秋冬にんじんの貯蔵試験を実施しました。

さつまいも協議会では「貯蔵庫の整備・活用による戦略的出荷体制の構築」を目標として、しっとり・あまい「千葉のべにはるか」を目指した「30 日貯蔵ルール」の徹底や「べにはるか」の統一販促資材(焼芋袋、レシピ等)を用いた販売プロモーションを行いました。



さつまいもの合同販促



ねぎの先進産地視察

### 3 平成 27 年度の取組

本年度は、主要 4 品目を中心として昨年度に確認できた連携事項を実施することとし、その推進内容を関係者で協議しながら、産地の活性化に向けたモデル事例を創出します。また、だいこん、キャベツ、きゅうりについても品目別協議会を設置し、産地連携を推進していきます。

頑張る産地



## 消費者に喜んでもらう果樹多品目経営への取組

印旛農業事務所 改良普及課  
普及技術員 中尾 友

野菜農家であった印西市の齋藤正敏さんは、地域でより需要のあるものを作ろうという思いから、14 年前に梨を中心とした果樹農家へと経営転換しました。現在では、梨の他にぶどうやかきなどの多品目を栽培し、訪れた人を喜ばせる直売所を目指しています。

### 1 経営の概要

印西市の齋藤正敏さんは水稲 1.3ha 梨 1ha (幸水 60a、豊水 30a、新高・その他 10a)、ぶどう (藤稔) 20a、かき 15a、くり 10a、うめ 5a を、家族 2 人と雇用労力で経営しています。販売は自宅の直売所を中心に、量販店の直売コーナーでも行っています。技術向上にも積極的に、地域の梨栽培技術の研究組織である「21 世紀梨作り研究会」にも所属しています。

### 2 野菜農家から果樹農家へ

齋藤さんは両親の代までは野菜農家で、自身も野菜経営を行っていましたが、地域で果樹農家は少なく需要が高かったこと、永年作物である果樹栽培に興味があったことから、14 年前に果樹農家へ転身しました。実際にやってみると野菜栽培で培った知識、経験が果樹栽培での土作りに活用でき、品質の高い果樹生産に繋がっています。

果樹栽培の面白さについて、『結果がすぐには目に見えないが、樹と長い付き合いができるし、1 年ずつ積み重ねて樹を作っていくやりがいを感じている』と語っていました。管理がしやすい二本主枝仕立てにしていますが、樹の成長とともに枝の配置に課題が出てきたということで、日々試行錯誤しています。



大粒のぶどうと齋藤さん

### 3 多品目経営の実際

梨栽培開始から 5 年ほど経った頃、直売所にたくさんの種類の果物があつた方が来た人も楽しめるだろうという思いから、梨の他に、かきやぶどうの栽培を始めました。果樹は永年作物のため、ひとつの品目に対して 1 年中作業があります。例えば、齋藤さんの家では 6 月～7 月には梨の新梢管理を行いながら、うめの収穫・加工、ぶどうの摘粒、袋かけを同時進行で行っています。販売時には、手間はかかりますが、梨とぶどうのギフトセットを作り、1 箱で 2 度おいしいと好評です。うめは生梅だけでなく梅干を漬け、自宅以外に地域の直売所へも出品しています。最近ではくりの苗木も育成中で、今後はさらに直売所が賑やかになりそうです。



梨の新梢管理作業

### 4 今後の経営について

各果樹の新品種栽培にも興味があり、よりよい品種の導入を検討しています。

また、齋藤さんの住む地域は新興住宅街に隣接しており、新たに家族で転入してくる人が多いので、古くからのお客様を維持しつつ、新規顧客の確保に努めたいとのこと。地域には子供も多いことから、いつかは収穫体験に取り組んでみたいという意欲もあります。消費者に喜んでもらい、生産者も楽しめる経営を心がけ、今後も頑張っていきたいと話していました。



## イチゴ親株の炭疽病検査技術の省力化と検査時期

農林総合研究センター

生物工学研究室

研究員

中田 菜々子

これまでに開発した「遺伝子増幅法を用いたイチゴ炭疽病潜在感染苗の迅速診断技術」について、検査手順の一部を農業事務所等で実施でき、一度に多くの苗を検査できるようにするための技術開発に取り組んでいます。次年度の親株について検査する場合、11月から3月の間に実施することで効果的な防除につながります。

### 1 はじめに

イチゴ炭疽病は苗を枯死させるので、イチゴ生産において経済的ダメージの大きな病害です。本病は、病原菌が苗に感染してもすぐには発病せず、外観からでは健全苗との区別が難しい潜在期間があります。この潜在感染した苗が育苗圃や本圃に持ち込まれると、伝染源となって被害が拡大します。したがって、潜在感染した苗を早期に発見し、圃場から除去することが重要です。

農林総研では、これまでに他県や大学等と共同で遺伝子増幅法を用いたイチゴ病害潜在感染苗の迅速診断技術を開発しました。本技術を農業事務所等で活用していただくために、検査の省力化や検査時期に関する試験を行っており、経過を報告します。

### 2 検査の省力化

検査手順は以下の通りです。①検査対象の苗から下位葉2枚を採取し、葉柄基部（クラウンとの境の部分）を切り取る。②葉柄基部を培地で培養する（図1）。③培養液からDNAを抽出し、炭疽病菌に特徴的な遺伝子を検出する技術を用いて菌の有無を診断する。

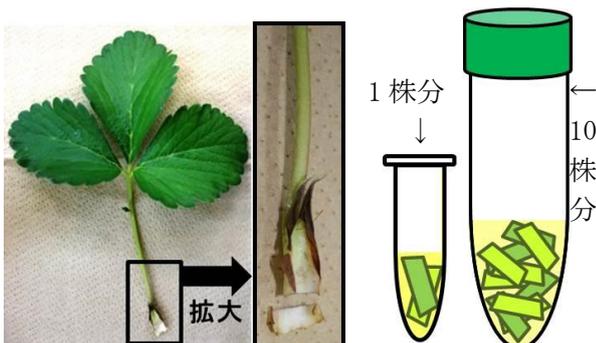


図1. 葉柄基部の採取（左）と培養（右）

これまでは培養の際に振とう機が必要でしたが、培地を改良することで振とうせずに病原菌を検出できるようになりました。現在、検出感度の確認を行っています。振とうした場合と同等の検出感度が得られれば、手順の①、②は農業事務所等で行えるようになり、農林総研に足を運ぶ回数は③の際の1回となります。また、これまでは1株ずつ検査していましたが、一度に多くの苗を検査できるように、苗10株分をまとめて培養する試験も行っています。

### 3 検査時期について

次年度の親株を検査することを想定し、9月に炭疽病菌を接種して作った潜在感染苗を翌年2月に検査した結果、80%の高い確率で炭疽病菌を検出できました。また、モデル圃場の試験では、4月中旬までに感染親株を除去することにより育苗圃での2次感染を防ぐことができました（表1）。このことから、親株検査を導入する時期は、新たな感染のリスクが低い11月（無加温条件）から翌年3月が適しており、生産者の作業の都合に合わせて余裕を持った検査スケジュールを組むことができます。

表1. モデル育苗圃での検査導入効果実証

試験区	発病株数/子苗数
4月14日に感染親株を除去	0/82
感染親株を放置	5/69

注) 2014年3月14日親株定植（10株中4株に炭疽病菌を接種）、株上かん水

果樹ニュース



## ナシ新品種「<sup>かんた</sup>甘太」について

農林総合研究センター  
果樹研究室 研究員 戸谷 智明

最近の消費者は、甘みが強く果肉が軟らかい品種を好む傾向があり、その特徴を備えた「あきづき」等の新品種の栽培が拡大しています。「甘太」は果実品質が良く、栽培が容易であることから、晩生のナシの需要を拡大する品種として、全国的な普及が見込まれています。今回は千葉県における「甘太」の生育特性や果実品質について紹介します。

### 1 来歴

「甘太」は(国研)農研機構果樹研究所が平成 10 年に「王秋」に「あきづき」を交雑育種した青ナシの品種であり、平成 19 年から筑波 58 号として千葉県他 33 か所の公立試験場で検討が進められてきました。平成 25 年 11 月 22 日に「甘太」(出願番号 28388)として出願公表されました。農林総合研究センター果樹研究室では平成 19 年に 1 年生苗木を定植し、平成 23~26 年の間、特性を調査しました。

### 2 特性の概要

#### (1) 樹性、花芽着生及び開花期

樹勢はやや強であり、枝の発生密度はやや多く、対照の「新高」より多くなりました。短果枝の着生は中~やや多く、えき花芽の着生はやや少~中で、ともに「新高」より少なくなりました。開花期は 4 月 8~20 日で、「新高」より 5 日遅くなりました。

#### (2) 果実の特性

収穫期は 9 月 20 日~10 月 2 日であり、対照の「新高」より、収穫始が 5 日、収穫盛が 7 日、収穫終が 5 日遅くなりました。1 果重は 526g で「新高」より小さくなりました。果実外観は揃いがやや良く「新高」より劣ります(写真)。果形は円で、さびが果面にまだらに発生します。

1 樹当たりの収量は定植 8 年目が 64.6kg で「新高」より多くなりました。

果実品質のうち、糖度が 13.3 で「新高」より高く、酸度(pH)が 4.7 で「新高」よりわずかに低く、果肉硬度が 3.8 ポンドで「新高」より軟らかくなりました。渋味は無く、香気があります。食味は甘みが強く、程よい酸味と相まって濃厚であり、肉質も良好です。日持ち性は常温で 18 日と、「新高」より 4 日短くなりました。軸折れは少なく、心腐れ、みつ症、硬化障害及び生理的裂果は発生しませんでした。

### 3 栽培上の注意点

甘太は、成熟期の果皮の着色が進まないため、収穫適期の判定が困難です。過熟になると肉質が軟化するため、収穫適期を表面色だけでなく食味を確認し判定しましょう。(国研)農研機構果樹研究所からは、まれに軽微なコルク状果肉障害が発生することが報告されており、千葉県では平成 25 年に果心褐変が 6%発生しました。



写真 「甘太」(左)と「新高」(右)の果実

## 台風による施設の強風対策について

全国農業協同組合連合会 千葉県本部  
園芸部園芸資材課 松崎 勝彦

近年、気象災害が増え、園芸施設に被害が及んでいます。本格的な台風シーズンを迎えるにあたり万全の準備をもって被害を最小限に防ぎましょう。

### 1 台風接近前までに行う事前対策

- ① ハウス周辺の整頓（飛散防止）
- ② ビニールの点検・修理（たるみや破損又は金具のゆるみやハウスバンドの増設）
- ③ ハウスは閉め切り天窓・側窓が開かないように固定する
- ④ 使用年数が経過しているフィルムは事前に撤去しておく
- ⑤ ハウスの雨どいの整備及び周辺の排水対策
- ⑥ 自動換気システムや暖房機は電源を切り燃料タンクはコックを閉める

### 2 襲来直前の施設管理

- ① 台風の進行方向や風速をテレビ・ラジオで確認し風の方向に注意する
- ② 作業の際には必ずヘルメットを着用し安全を図る
- ③ 換気扇を設置してあるハウスでは、ハウス内気圧を下げ被覆資材の浮き上がりを防止する
- ④ 被覆資材が新しい場合は風を入れない

### 3 台風通過後の事後対策

- ① 換気を図り施設内の高温を防止する
- ② 施設及び施設周辺の排水を積極的に図る
- ③ 作物への泥跳ねは動噴で洗い流す
- ④ 潮風を受けた場合は散水して洗い流す
- ⑤ 天候を見計らって薬剤散布を行う

## 「千葉なし味自慢コンテスト」 （幸水）開催結果

全国一の千葉の梨～ナンバーワン決定！

県生産振興課

8月8日（土）～9日（日）、習志野市のイオン津田沼店において「千葉なし味自慢コンテスト」を開催しました。今回は県内の22団体から「幸水」110点の出品がありました。

初日の専門家による品質審査に加え、2日目は「あなたが選ぶ千葉なしナンバーワン！」と題し、一般消費者50名が食べ比べて、上位3賞を決定しました。

また「千葉のくだものセールスレディ&ボーイ」による試食やPRを行い、旬を迎える「幸水」の味を消費者に知ってもらう機会となりました。

### 上位3賞について

賞名	所属組合名	氏名
農林水産大臣賞	JA いちかわ果樹部会	鈴木庸夫
千葉県知事賞	印西果樹園芸組合	米井絹恵
農林水産省生産局長賞	鎌ヶ谷市梨業組合	鈴木吉夫



上位3賞に輝いた「幸水」



専門家による品質審査

消費者が食べ比べて今年の  
No. 1 を決定